

「全国商工会議所観光振興大会 | N 青森」より 2 月 3 日の朝 6 時、厳冬の雪の青森を予想して完全武装して出かけました。

昼食は車中で「恵方巻き」を頂き、凡そ 3 時間 10 分で新青森駅へつきました。

#### ◎暑かった雪の青森

駅から会場までの沿線は掻き上げられた高さ 2 メートルくらいの雪の堤が続いておりました。やっぱり雪国はすごいと驚きながらバスを降りると晴天だった雪の青森は思いのほか暖かく、暖房の良きいた会場はコートやジャケットを脱いでも汗が出る暑さに辛抱できずに展示場へと逃げ出しておりました。



#### ◎この大会のキーワードは「健康」

それぞれの地域が持つ食、自然、文化、産業など資源を健康という新たな視点で捉え、その地域が持っている季節ごとの光と個性を生かして、その土地ならではの多様な観光プログラムを創造し、観光客が心身の健康を求めてその土地に着地して、地域の生活や技能を体験する滞在型観光によってその土地に魅力、愛着が生まれ、やがては移住につながる新しい観光構想であり、4 千万首都圏を持つ君津にピッタリの構想でした。

#### ◎広域連携と農商工連携を。

この構想実現には個々の努力も大切ですが、近隣市町村、遠隔市町村に加えて農商工連携を密接にして、観光産業の相乗効果を上げる事があります。

#### ◎周遊する観光プログラムを。

東北の 3 大祭りを軸にして青森のねぶた祭、秋田の竿灯祭り、山形の花笠踊り、盛岡のさんさ踊り、福島島のわらじ祭り、仙台の七夕等が連携して北から順次祭りを回遊する観光が大人気を集め全国各地に広がっております。房総の観光も今、各市が企画されている B 1 グルメ、史跡めぐり等も 1 市だけですと単発日帰りになりますので各市が連携して周遊する観光プログラムを早期実現させたいものです。

#### ◎元気の良い港町八戸

東北で最も元気の良いまちの一つに八戸があります。昔から「イカの水揚げ日本一」で知られた港町でしたが、今は水産に加えてエネルギーを中心とした臨海工業地帯、コンテナ貿易港は東北随一と言われ人口 25 万人予算規模 7 百億円の市です。

#### ◎にぎやかな「八戸横丁、屋台村」

八戸には 8 つの横丁通り、凡そ 2 百軒の屋台、飲食店のれんさ街があります。一晚ではとても歩ききれない盛況横丁です。大阪、神戸の繁華街に次ぐ元気でにぎやかな繁昌横丁でした。館山道、アクアラインに大渋滞する車を田舎道の商店街へ回遊させる知恵が房総観光の成否の決め手となりそうです。

#### ◎共販組合の八食センター

かつての君津小売市場の 5 倍くらいの 65 店舗、売り上げ 65 億円、生鮮三品と食堂、新鮮と元気の良さに近くには大型店も寄り付かない… 君津も新しい市街化の中心に必要なかも… と思いました。

#### ◎壮大な日本一の八戸朝市

朝市は 9 カ所あり、朝 3 時から始まる朝市には 400 店も近隣から集まり、日曜市には 3 万人もの客が押し寄せると言う壮大な朝市ですが、残念ながら直接は見られませんでした。リピートのコツは女性達の好みを大切にする事。①おいしい食べ物②良いお風呂③良いお土産… 八戸には良いお風呂屋が 40 軒もありました。

(次号へ)